

令和6年度 天童市立第四中学校教育実践基本計画グランドデザイン

「校長の『夢』は、四中が名実共に文武で日本一の学校になること」

限界は空高く

真剣に勉強する生徒

ねばり強くが
んばる生徒

思いやりの心
を持つ生徒

社会の変化が激しく、先行
き不透明な VUCA 時代

自然災害等

世界各国の戦争や紛争

地球温暖化等の問題

様々な多様性への対応

いじめ・不登校・児童虐待・働き方改
革・休日部活動の地域移行等

日本国憲法

教育基本法

国教育振興基本計画

県六教振
人間力に満ちあふれ、
山形の未来をひらく人
づくり

天童市教育目標
未来を描き、問いを立て、解決・創造する力を育む学校教育
・物事を深く思考し、論理的に伝える力・

市教育振興基本計画

四中は使命は「学区の人たちを幸せにすること」
それは「四中生の可能性を引き出し、世界を舞台に活躍する人間となるための礎を築く。」こと

学校教育目標

笑顔にあふれ、「**生きる力**」を存分に**身につけた**生徒を育てる

失敗を恐れず行動できる心づくり

- 前例に縛られず、新たな四中ヒストリーの主人公となる機運醸成（講話等）
- 教室は「失敗するところ」「間違えるところ」である（授業の根本）
- 人のため、地域のためになることの活動推進（自尊感情）

今年度の 3つの指導の重点

個が高まる学びづくり

- 多様な視点や思考等に出会える場の設定（朝鑑賞等）
- 小中連携による付けたい力に向けた**学習形態等の研究**（マイプラン学習等）
- 「わかる」が「たのしい」に。意欲と学びの上向きスパイラル（APMP 学習等）

指導方針スローガン

**四中一人一人が
NextStage へ挑戦！**

四中が目指す具体的な姿

**ありのままの自分を出し、
四中の一人一人が表情を輝かせ、
教育活動に向かっている姿**
(ありのままの自分とは？四中の一人一人とは？輝いている表情とは？)

※本校の象徴であるロータリーの「柏の木」に、形も大きさも違う、そして色も違う「かしわの葉」が育っているイメージ。

○なぜ挑戦か？！

- ・四中は創立 32 年目を迎え、成熟した地域の学校になった。
- ・四中生は素直で思いやりがある、愛の溢れる人間に育っている。コロナ禍を過ごした今、本気に行事に取り組める情熱も持っている。
- ・四中は今、踏み出す時、次のステージに進むべき時が来ている。

愛ある居場所づくり

- 一人一人の違いを認め合う、明るく楽しい学級・学年づくりの推進
 - ・「笑い」「涙」「充実」「感動」ある教育活動（生徒会活動、学級・学年レク等、行事等の工夫）
 - ・温かい人間的、共感的な指導を中心に据えた「いじめ」や「不登校」等への対応
- 自己開示、他者理解が進み、協働する中から安心・安定できる場づくり（異校グループエクスチェンจ์、ソーシャルスキルトレーニング等）
- 充実した機能する**特別支援教育の実践**（特文学級の計画的実践、特支教育の研修を推進等）

